

# 元気な地域づくり

## JTB旅ホ連 14年度事業

JTB旅ホ連特集

# JTBの宿泊販売目標400億円を支援

JTB協定旅館ホテル連盟(JTB旅ホ連、福田朋英会長)は、事業推進の基本テーマとして「活発な支部活動、元気な地域づくり」を掲げ、旅ホ連の大命題である「宿泊増売」に向けたさまざまな事業活動では従来

と同様に、「宿泊増売」「人材育成」「組織強化」の3本柱の深耕につながる施策をそれぞれ展開する。JTB旅ホ連共済については、加入員数拡大を図る方針だ。

### 宿泊増売

14年度のJTBの宿泊販売目標額は4千億円。JTB旅ホ連では、その目標達成に向けた「宿泊増売重点推進課題」として、JTBからの「4つのお願い」への協力や宿泊増売推進会議の充実など、6つの項目を掲げている。

#### 4つのお願い

今年度の4つのお願いでは、JTBの成長戦略の柱でもあるインバウンド事業、ウェブ事業を後押しするべく、従来のウェブ販売の「JTBセレクト」や「ふるふたふた」の参画の依頼に加え、14年度は新たに、訪日外国人向けの予約サイト「JAPANICAN」の参画協力が盛り込まれた。JTBと旅ホ連は、インバウンド事業の軸として展開していくJTBに全面的に協力していく考えだ。

訪日外国人の個人旅行は、有望かつ日本にとって必要なマーケットであり、JTBと旅ホ連は、その受け入れを重要だ。「まずはジャパニカンに参画して、それぞれの施設での訪日外国人客へのおもてなしに工夫を凝らすなど、地域で呼び込める素地作りが肝要だ」と旅ホ連本部は強調する。

#### 宿泊増売推進会議

宿泊増売推進会議では、旅ホ連会員とJTBとの情報の共有化、販売促進を主目的に、宿泊増売に向けた

#### インバウンド受け入れ拡大

昨年、訪日外国人が1千万人を超え、2020年の東京五輪の開催も決まるなど、インバウンド市場に追い風が吹いている。しかし、観光庁の調査では訪日外国人客の約3割が東京都に集中するなど、全国各地の宿泊客数の減少傾向を打破するまでは至っていない。

「ふるふたふた」の参画の依頼に加え、14年度は新たに、訪日外国人向けの予約サイト「JAPANICAN」の参画協力が盛り込まれた。JTBと旅ホ連は、インバウンド事業の軸として展開していくJTBに全面的に協力していく考えだ。

訪日外国人の個人旅行は、有望かつ日本にとって必要なマーケットであり、JTBと旅ホ連は、その受け入れを重要だ。「まずはジャパニカンに参画して、それぞれの施設での訪日外国人客へのおもてなしに工夫を凝らすなど、地域で呼び込める素地作りが肝要だ」と旅ホ連本部は強調する。



ジャパニカンのトップページ

### 訪日個人客の受け入れ促進 「ジャパニカン参画を」

外国人観光客の誘致事業や、オリンピック・パラリンピックを契機に受け入れ態勢整備を行うための文化振興事業などを支援する。単純な外国人客誘致政策ではなく、JTBのインバウンド政策との強力な連携の下、中・長期的な地域活性化につながるような取り組みを後押しする。

利用客数を伸ばしている。全国に多種多様な宿泊施設約6千施設と、日帰りで利用できるパッケージツアーまで幅広い商品をラインアップしている点が特長だ。

言語別に英語、中国語、韓国語、タイ語、香港語、繁体字(台湾)、香港語、日本語(台湾)など、仕入れ体制がグループで一本化されたために、JTBの契約施設は掲載を希望す

### 組織強化

#### 支部主体で地域生かす

JTB旅ホ連は、11年度に「中期課題検討推進プロジェクト」(久保田浩基社長)を立ち上げ、組織の安定強化に取り組みしてきたが、昨年度の支部改革をもつて本部から始まった一連の「旅ホ連改革」の完結が図られた。その結果、13年度の事業収支も黒字化し、財政基盤の強化に大いに寄与した。今後宿泊増売事業は、地域特性を生かすために、本部主体から地域(支部)主体に移行することから、本部、支部の義務的な経費削減に得た資金を支部の宿泊増売事業に投じる方針。そのため支部は、最適な事業活動を模索した上で、資金を有効に活用してもらいたいと考えた。

財政基盤の安定に最も欠かせない会員の維持・拡大については、ホテル会員のニーズを宿泊増売に反映させるため、13年度に設立した「ホテル部会」が昨年増加した大きく貢献した。昨年8月29日に第1回ホテル部会を開催して以降、今年4月1

日までに旅ホ連全体で67名が加入したが、その提供を行ってきた会員限定サイトの「予約」も一新。新加入の88・7名をホテル部会が占めた。今年度に入り4月以降もホテル部会の新規加入の報告が相次いでいる。また近年、旅ホ連の事業としてニーズが高まっているのが、リスクマネジメントとなる。旅館・ホテルと旅ホ連会員のネットワークとして活用することを目指す。旅館・ホテルと旅ホ連会員のネットワークは、多様化しており、主流と見られていく方針だ。

20年の東京オリンピックに対する対応の他、昨今は従来よりも、労働問題、食料・エネルギーなどの相対的なリスクが顕著になり、ホテル部会が決定し、今後各地域に展開する。JTB旅ホ連は、ホテル部会が決定し、今後各地域に展開する。JTB旅ホ連は、ホテル部会が決定し、今後各地域に展開する。



リスクマネジメントセミナーの様子

#### 宿泊アンケートの回収率アップ

JTBが販売戦略として重きを置いているのが、旅行商品の品質保証。この中で旅館・ホテルの品質について、アンケートの回収率が高まるほど、宿泊客の声を正確に拾い上げ、より精度の高い品質保証が可能となる。また旅館・ホテルにとっても、自館の評価点が高くなるというメリットがあるという。

#### 現地受け入れ研修

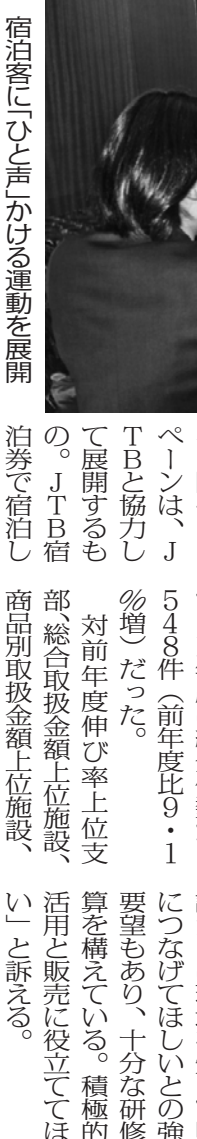
一現地受け入れ研修は、JTBグループ各社や提携販売店の担当者や支部単位で研修旅行の受け入れを行うもの。最新の現地情報の把握や会員施設との情報交換による販売力の向上を促すのが目的だ。13年度は支部連合会や支部単独などで合計1654人(うち日帰り29人)を受け入れた。

#### お客さま紹介運動

「お客さま紹介運動」は、JTBと旅ホ連の互恵に裏打ちされた取り組みの一つ。13年度は紹介件数が548件(前年度比9・1%増)だった。

#### 泊客にひと声かける運動を展開

泊客にひと声かける運動を展開



美人月間温泉 100周年祭

おかげさまで創業85周年

## 心きよらの旅

赤ちゃんとお泊りのパパママ、妊婦さん、三世代のお祝いにも。奥様、旦那様、お子様それぞれが「清ら」になれるおもてなしをご用意しております。

### ゆったりお風呂三昧

ホテル清風苑は、男女合わせて4つの大浴場に、3つの貸切風呂で、15の浴槽、うち6つが露天風呂、2つのサウナ、24時間お風呂三昧です。

エステサロン「Ananda」至福のひとときをコンセプトに、心も身体もリラックスできる新しい形の温泉の楽しみ方をご提案致します。

美人月間温泉 新潟県新潟市月間温泉 〒959-2397 TEL.0254-32-2000 (代)

FAX.0254-32-2945 ◆インターネット http://www.seifuen.com ◆E-mail:toyukake@seifuen.com

地球環境にやさしいお泊りをめざしております。

分煙化を推進しています。温泉の香りを楽しんでいただくため禁煙客室をお部屋をご用意いたしました。心ゆくまでご堪能ください。

ケータインからラクラク24時間オンライン予約

50th anniversary おかげさまで50周年 半世紀のありがとう

ご婦人源泉露天風呂「夕映え」 股方露天風呂「朝風」

## お風呂色々、夕映え色々。

“The オーシャン倶楽部”

沈む夕陽に時間の流れを忘れるひととき。 海を一望できる新ダイニングレストラン。 風の音、潮の香り、湯のぬくもり、すべてが最上級。 “源泉蒸し”をはじめ沙美荘の旬が揃う。

新潟県・瀬波温泉 政府登録国際観光旅館(登録1346号) 予約専用ダイヤル 0254(53)5858

夕映えの宿 沙美荘 〒958-0037 新潟県村上市瀬波温泉2丁目9番36号 http://www.shiomisoko.jp